



# 浜家連 ニュース10月号

第230号

2019年10月1日発行

発行人 特定非営利活動法人 横浜市精神障害者家族連合会  
事務局 〒222-0035 横浜市港北区烏山町 1752 番地  
障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール3階  
電話 045(548)4816・FAX 045(548)4836  
URL <http://hamakaren.jp/>

横浜市精神保健福祉審議会から

理事長 宮川 玲子

横浜市の健康福祉局では障害者の福祉政策を作成するにあたって、沢山の審議会や協議会を作っ  
て検討しています。浜家連でもいくつかの会に招  
集されているので、三役がそれぞれ分担して参加  
しています。毎回事前に分厚い資料が送ら  
れてきます。政策内容は理解するのに時間  
がかかりますが、読んでおいて事前に質問  
事項や意見を考えておかないと会議がどん  
どん進んでしまいます。

審議会は20名ほどの委員で構成されています  
が、驚くことに、いつの会合も健康福祉局の方  
たちがこれも20名程控えています。なぜこんなに  
参加しているのかと思ったのですが、審議内容ご

とに取り扱う部署が違うので、質問された時答え  
るためらしいです。が、ほとんど課長・係長の人  
が説明し答えていますので、全体の審議内容を知  
るためのようです。会の内容は録音しているところ  
もあり、議事録が後で送られてきて間違  
いがないか点検してホームページに載せて  
いますので、詳しく知りたい方はご覧にな  
ってください。



精神保健福祉審議会は年2回会合があり、  
委員の構成は病院の院長が4名、診療所の院長が  
2名と医療関係者が入っているのが特徴です。他  
は支援者や学識経験者の方々です。

次に9月に行われた審議会の主な内容をお知らせします

## 1. 第4期横浜市障害者プランの策定について

令和3年から8年までの6年間のプラン作成のため、今年は障害者団体等へのグループインタビューを行なう。(9月の理事会に聞き取り調査にみえました)

## 2. 生活支援センターの標準化について

昨年4区でモデル事業を行った結果、今年の7月からA型B型とも同じ職員体制、同じ時間にし、週1日休日にするようになってすでに開始している。効果を引き続き検証していく。

## 3. 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けたモデル区の選定と取り組み

各区の自立支援協議会の部会に協議の場を設置する。関係機関同士の連携を図る。

地域の課題解決を図るため目標設定・取り組みをする。

今年度は神奈川区、保土ヶ谷区、港北区、栄区がモデル区として実施し、来年度は全区展開に向けて準備を進める。

## 4. 依存症関連問題に取り組む民間団体活動支援事業の開始について

補助金を交付する。年度ごとに公募・選考を予定。ミーティング活動、普及啓発活動、相談活動、団体相談支援活動に補助上限額内で、指定の経費の2分の1の補助を行う。

## 5. 精神障害者保健福祉手帳の郵送申請開始について

10月から事務処理センターを設置し郵送での申請を受け付ける

## 6. 障害者手帳のカード化について

今後当事者の方々から意見を伺いながら検討を進める

以上

### 浜家連の動き

.....



2019年度の政党・健康福祉局への要望書提出及び懇談会は以下の通りすべて終了しました。我々の要望が政党や行政側に届き、少しでも多くの要望が実現されるよう願うばかりです。

#### 1. 浜家連

提出及び懇談先	日程	時間	参加者
自民党・無所属の会	6月19日(水)	15:00~15:45	16名
公明党	6月17日(月)	13:00~13:45	17名
日本共産党	6月17日(月)	10:00~11:00	14名
立憲・国民フォーラム	6月11日(火)	13:45~14:15	11名
日本共産党県議団	7月30日(火)	11:00~12:00	10名
横浜市健康福祉局	8月19日(月)	13:00~14:30	18名
合計			86名

#### 2. 障神奈連関係

提出及び懇談先	日程	時間	参加者 (浜家連)
日本共産党県議団	7月26日(金)	13:30~15:00	3名
立憲民主党	7月26日(金)	15:05~15:25	3名
かながわ県民・民主フォーラム	7月31日(火)	14:30~15:00	2名
福祉分野(知事部局)	8月2日(金)	16:00~18:30	2名
	5日(月)		4名
教育分野(教育委員会)	8月26日(月)	15:00~16:30	3名
合計			17名

延べ参加人数 103名

●2019年度最後となりました横浜市健康福祉局への要望書提出と懇談会について、報告が届いています。

#### 横浜市健康福祉局への要望書提出と懇談会に参加して

わかば会 藤井るみえ

8月19日(月)、横浜市健康福祉局と浜家連との懇談会が行われました。健康福祉局の各部門から課長、係長、担当の方合わせて17名、浜家連からは18名が出席しました。

2020年度予算に向けた要望書が宮川理事長により提出され、アンケートの集計結果から、家族との同居70%、社会資源の利用なしで引きこもった状態43%等を考慮して施策に反映

させて欲しいと要望の補足がありました。次に、大羽副理事長より、最重点項目の要望が述べられました。それに対して、障害企画課 精神保健福祉推進担当の榎本課長を中心として、それぞれの項目担当の課から福祉施策の実施状況の説明がありました。



続いて、浜家連の参加者 10 名から、特に強く要望したい項目や重点項目以外について意見が出され、質疑応答、意見交換がなされました。医療費の助成を2級まで段階的にでも良いので広げて欲しい、家族教室をすべての区で実施してほしい、治療方針の承諾、緊急時の入院に際して医師や専門家の上質な説得が欲しい等、印象に残りました。

また、身体拘束については親として命を守るため、認めざるを得ない辛い状況もあるという意見なども出されました。拘束を最小限にする

ため、病院の実地指導を徹底しているとのことですが、他にも何か方策がないものかと胸が痛くなります。

「精神障害にも対応した地域包括 ケアシステム」については、今年度から実施するモデル区が4区（港北区、神奈川区、保土ヶ谷区、栄区）。保健・医療・福祉関係者による協議の場を設置し、10 項目の事業は各地域でこれから協議していくとのことでした。家族会も社会資源の一つです。この協議の場に連なって意見を取り入れてもらうことが必要だと思いました。

### 家族による家族学習会が始まります。

10月～11月にかけて浜家連研修会、ブロックフォーラム、市民メンタルヘルス講座などの行事が開催されますが、2019年度「家族による家族学習会」も下表の通り10月から始まります。詳細についてはチラシやホームページをご覧ください。

担当単会名（区）	開催会場	開催日	開催曜日 開催日時
あじさいの会（瀬谷区）	せやまる・ふれあい館 2F 団体交流室2	10/5・10/19・11/2・ 11/16・11/30	いずれも土曜日 13:30～16:30
たちばな会（保土ヶ谷区）	かるがも3階 多目的研修室Ⅰ又はⅡ	10/3・10/17・11/7・ 11/14・11/21	いずれも木曜日 13:30～16:30
若杉会（戸塚区）	戸塚区 生活支援センター	1/13・1/27・2/10・ 2/24・3/9	いずれも月曜日 13:30～16:30
さかえ会（栄区）	栄区 生活支援センター	1/18・2/1・2/8・ 2/29・3/14	いずれも土曜日 13:30～16:30

### Bブロック市民精神保健福祉フォーラムが開催されました

#### 「こころの扉を いま開こう」

～伝える 伝わる 私たちのこと～

2019年9月14日（土）に泉区民文化センター・テアトルフォンテにおいて市民精神保健福祉フォーラム（浜家連Bブロックフォーラム）が開催されました。

今回のフォーラムは二部で構成され、一部はヨガインストラクターによる「笑いヨガ」でした。笑うことが免疫カアップにつながる事については一般的に知られていますが、実践となるとな

いずみ会 横山 芳江

なか難しいものがあります。今回は具体的に様々なつくり笑い（はひふへほ笑い、ライオン顔笑い等）を体験できました。笑いの効用を見つめ直し、実践する有効な機会になったのではないかと思います。

二部は生きづらさ（統合失調症やうつ病、発達障害など）を抱えた人たちからのメッセージでした。今回のタイトル「こころの扉を いま開こう」



～伝える 伝わる 私たちのこと～ は当事者さん達との話し合いの中から生まれたものです。四名の発表者たちは、このタイトルに沿って生きづらさと真正面に向き合った事を真摯に率直に語ってくれました。人前で自分の事・自分の考えを話す事は非常に難しい事です。ましてやこのような大会場で大勢の人前となるとその緊張は想像を絶するものであったにちがいありません。各々の発表者は、自分の心に問いかけ、まさに今後の自分の将来をかけて壇上にあがってくれました。「自分の経験を話すことが少しでも役に立つのであれば」と語ってくれた時は胸が熱くなり、今回の各発表者の踏み出した一步の体験が、今後、発表者一人一人の背中を押してくれる大きな力になってくれる事を願って止みません。

今回、一人でも多くの方に会場に足を運んでいただけるよう、多くの機関にチラシを配布いたしました。実は当事者さん達と打ち合わせをする中で彼らの口から「いろんな人に来て欲しい、特に

学校の先生に来て欲しい」という発言を聞き、それを実現させるための方法を考え、区内中学校校長会へのチラシ配布を提案し、泉区福祉保健センターを通して各中学校へチラシを届けることができました。また、二俣川看護学校、市大看護学科、区内大学・高校へも配布し、教育関係や学生の方々にも来ていただけるよう情報発信をいたしました。初めてのアプローチで関心を持って貰うことは難しいですが精神疾患への啓発活動を念頭に置いたこの行動はいずみ会では初めての試みでした。

当日、会場にご来場いただいた方々は232名にのぼります。重いこころの扉を開き発表してくれた彼らの勇気と発信力、彼らの持つエネルギーは参加された方々の心に届けられたのではないのでしょうか。

ご来場いただいた皆さまが清々しい表情で会場を後にされたような気がいたしました。

### ◆イベントのお知らせ◆

#### § 第4回 浜家連研修会 §

日時 2019年11月15日(金) 13:30~16:00

場所 横浜ラポール2階 大会議室

テーマ 親あるうちの準備を考える

～障害のある子の家族にとって「親なきあと」は共通の課題です～

講師 渡部 伸 氏

「親なきあと」相談室主宰/行政書士・社会保険労務士

「親なきあと」相談室ネットワーク代表

定員 100名 入場無料



【編集後記】4年に1度のラグビーワールドカップが開催されています。前回南アフリカを破った日本は「世紀の大番狂わせ」と言われ、それまでラグビーに何の興味をもてなかった人までも喜び、日本中が沸きました。今回もそんな「筋書きのないドラマ」を見ることができればと・・・。

ラグビーワールドカップ期間中、浜家連事務所のある横浜ラポール周辺は多くの人で混雑が予想されます。外国の方や交通規制など、いつもと違う風景になっているかもしれません。浜家連に来る途中、混雑に巻き込まれないようお気を付けください。(事務局 中居)